

令和2（2020）年度 北海道幌加内高等学校教育目標等

- 1 校訓 『和』  
（綱領）
  - ・敬愛和合
  - ・師弟一如
  - ・研鑽不止
- 2 学校教育目標  
（知）自ら考え行動する人間を育てる。  
（徳）礼儀正しい人間を育てる。  
（情）心豊かな人間を育てる。  
（体）健康でたくましい人間を育てる。
- 3 育成を目指す資質・能力  
自立した人間として、他者と協働しながら新しい価値を創造する3つの力を育成する。  
（1）自ら前に踏み出す力（失敗しても粘り強く取り組む力）を育成する。  
（2）自ら考え抜く力（自分で仮説を立て実験し検証する力）を育成する。  
（3）自ら進んで集団で働く力（多様な人とともに目標に向けて努力する力）を育成する。
- 4 重点目標  
（1）生徒実態に即した教育課程指導の編成と実施により、自ら学ぶ意欲・態度の育成に努める。  
（2）組織的指導により、基本的な生活習慣の確立、規範遵守意識・倫理観の育成に努める。  
（3）六次産業教育を通して農業・キャリア教育の実践により、勤労観・職業観の育成に努める。  
（4）自己管理能力・危機回避能力の向上と豊かな心の育成に努める。  
（5）特別活動等をとおして、幅広く学ぶ意欲・態度の育成、健康安全意識の定着に努める。
- 5 教育課程編成の方針  
（1）地域や生徒の実態に即した弾力的な教育課程の編成、実践に努める。  
（2）基礎基本の定着と、一人一人の学習・キャリア段階に応じた教育の推進に努める。  
（3）教育課程の編成、実践について計画的な評価と効果的な改善に努める。  
（4）学校設定科目「そば」を柱に、地域理解の深化と地域に貢献できる力の育成に努める。  
（5）授業時数の適正確保と効果的な展開のため、教育課程を管理、学習活動の充実に努める。
- 6 指導上の重点事項

学習指導	基礎学力の向上と思考力・判断力・表現力の育成に努める。 ①「主体的・対話的で深い学び」を推進し、学習評価の改善を図る。 ②学校教育と寮教育を連携し、個別の課題に応じた学びの充実に努める。 ③土曜授業を活用し、地域の教育力活用と環境の特色を活かした学びの充実に努める。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と倫理観・公共心、優しい心の醸成に努める。 ①日常の気づきや教職員共通理解の下で、生徒個々の支援・充実に努める。 ②教育相談や支援体制の構築等を図り、生徒事故未然防止、早期発見・対応に努める。 ③農生会活動等を充実させ、自ら考え行動する姿勢や自己存在感、有用感等の醸成を図る。
進路指導	人生設計能力・社会人基礎力の育成に努める。 ①職場体験や入学時からの体系的な進路指導の実現を図る。 ②企業や関係機関等との連携を深め、社会と学校双方向の実践的な指導を展開する。 ③アグリマスター顕彰制度の活用を図り、取得資格の励行及び生徒の主体的活動を促進する。
健康・安全指導	自己管理能力の育成と環境保全・安全意識の向上に努める。 ①生徒の実態等を踏まえ、他者と共生する心と態度の育成に努める。 ②寮教育や専門教育と連携し、地域を活用した食育と環境・防災教育の充実に努める。 ③SCやケースメソッドによるグループワーク等を活用し、健康・安全に対する意識向上を図る。
専門教育指導	農業・産業教育を通して望ましい産業人の育成に努める。 ①フードシステム構築と外部教育力導入を促進し、専門的知識・技術の深化を図る。 ②六次産業教育展開による生徒主体の商店会経営を通じ、社会人基礎力の育成を図る。 ③食と環境を意識したプロジェクト学習を地域発信し、町の活性化と社会貢献活動を推進する。
寮教育指導	集団生活を通して自主・自律精神の伸長に努める。 ①規則的な生活習慣の確立と食生活の改善を図り、自主・自律の態度を育成する。 ②放課後学習、寮学習時間の効果的活用により、各自の適性に応じた進路実現を図る。 ③寮役員の自主的活動を通じ、コミュニケーション能力育成と互いを認め合う人間関係構築を図る。